

# 産業用機械高レベル実感

総合機械メーカーの三明機工(静岡市清水区、久保田和雄社長)は20日、県内高校生向け会社見学会を同社工場などで開いた。県立伊豆総合高の2年生約40人が参加し、国内外の工場で自動化や省力化に寄与している最先端の産業用機械の製造現場に触れた。

(清水支局・栗原広樹)

## 清水区の三明機工見学会



従業員の手導でロボットを動かす生徒ら＝静岡市清水区の三明機工

## 高校生、操作体験も

生徒たちは二つのグループに分かれて工場内を巡り、機械が加工されたり、装置が組み立てられたりしていく過程を見学した。同社の小沢嘉英製造部リーダーから業界の仕事や同社の特徴などを聞いた。生徒代表がロボットを実際に動かす体験もあった。

生徒たちは同社従業員との会話を通じ、ものづくりに携わることのでられる働きがい、業務に必要な資格などを確認していた。2年服部拓実さんは「県内の製造現場から生まれている機械やロボットのレベルの高さが分かった」と語った。

同社は5月9日にも、中学生向け見学会を予定している。斎藤謙一取締役業務部長は「取り組みを重ね、ものづくりに高い関心を持つ若者を地域に増やしていきたい」と説明した。